

2025年3月期 第1四半期決算説明資料



株式会社日本動物高度医療センター（東証グロース：6039）

2024年8月1日

2025年3月期第1四半期は、

売上、営業利益共に前年同期を大きく上回り、
四半期の売上高では過去最高をマーク

<ポイント>

- 売上高1,250百万円 前年同期比 31.4%増、営業利益149百万円 前年同期比 296.0%増
- 既存病院（川崎、東京、名古屋）の初診数、総診療数ともに前年同期を上回る
- 手術数も前年同期から大きく増加
- 大阪病院開院から1年が経ち、単月黒字化するまでに成長
- 大阪病院において2024年5月より放射線治療を開始し、紹介件数の増加に貢献

2025年3月期第1四半期 決算サマリー

四半期の売上高で
過去最高をマーク

(百万円)	2024/3期			2025/3期				
	1Q実績	進捗率	通期実績	1Q実績	前年同期比		進捗率	通期計画
売上高	951	22.2%	4,270	1,250	+298	+31.4%	25.9%	4,820
二次診療サービス	635	21.7%	2,917	888	+252	+39.8%	-	-
画像診断サービス	123	22.9%	539	138	+14	+11.9%	-	-
健康管理機器レンタル・販売サービス	190	23.6%	806	222	+31	+16.2%	-	-
売上原価 + 販管費	914	24.2%	3,773	1,101	+187	+20.5%		
営業利益	37	7.5%	496	149	+111	+296.0%	23.8%	625
経常利益	33	6.8%	489	150	+117	+352.5%	24.1%	625
親会社株式に帰属する 四半期純利益	18	5.3%	337	103	+85	+471.8%	23.4%	440
1株当たり 四半期純利益	6.5円	-	123.0円	39.4円	+32.8円	+499.3%	-	169.6円

一時的に大阪病院
の開院費用が発生

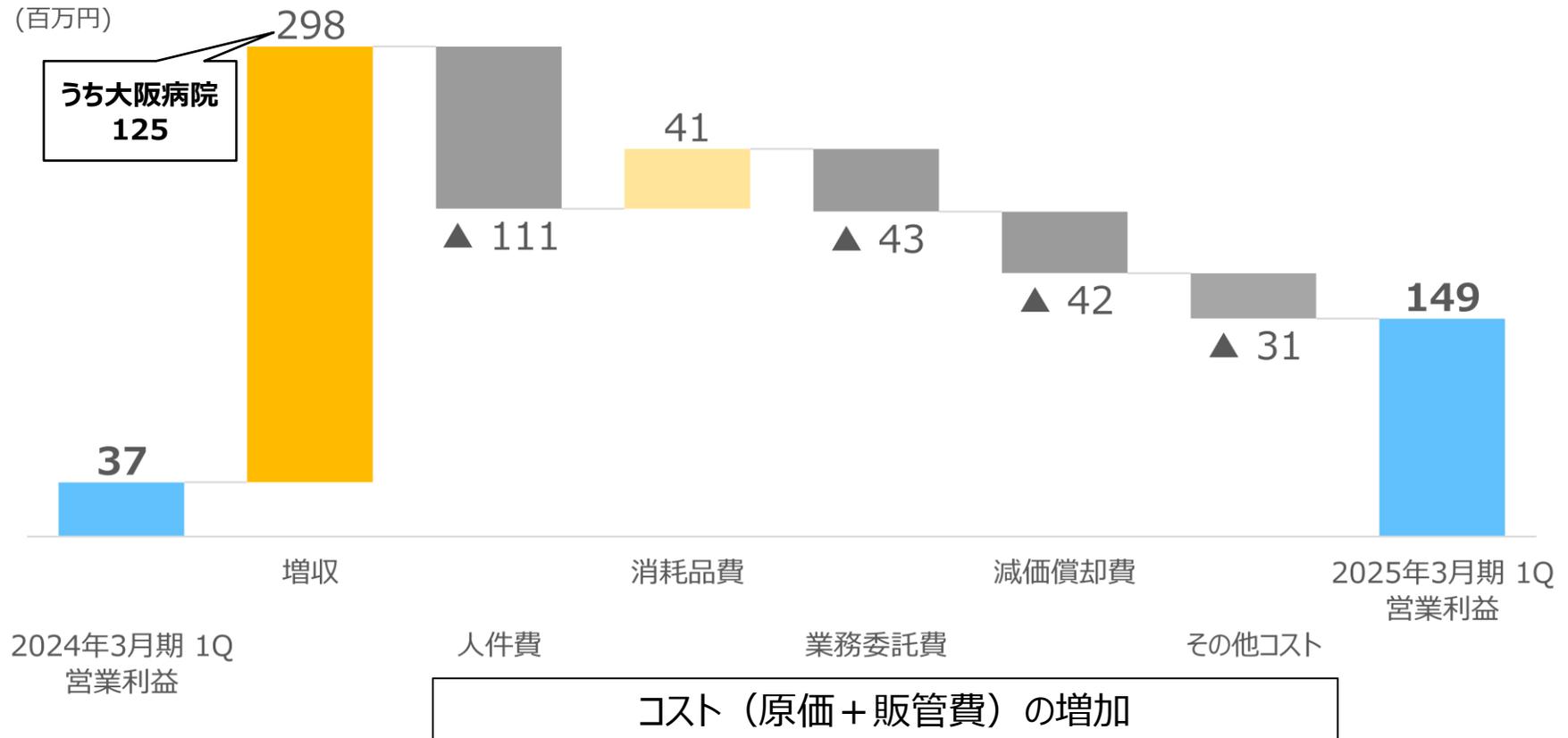
バランスシート状況

- 現預金は大阪放射線治療棟ならびに関連機器に関わる支払いにより減少
- 自己資本比率は43.5%から44.0%へ改善

(百万円)	2024/3期	2025/3期 1Q	前期末比
流動資産	1,777	1,482	▲294
現預金	1,337	1,006	▲331
売掛金	297	313	+16
商品及び製品	74	99	+24
固定資産	6,992	7,008	+15
有形固定資産	6,151	6,181	+29
無形固定資産	548	530	▲17
総資産	8,770	8,490	▲279
負債	4,958	4,754	▲204
有利子負債	3,856	3,988	+132
純資産（株主資本）	3,811	3,736	▲74
自己株式	▲410	▲544	▲133
負債純資産合計	8,770	8,490	▲279

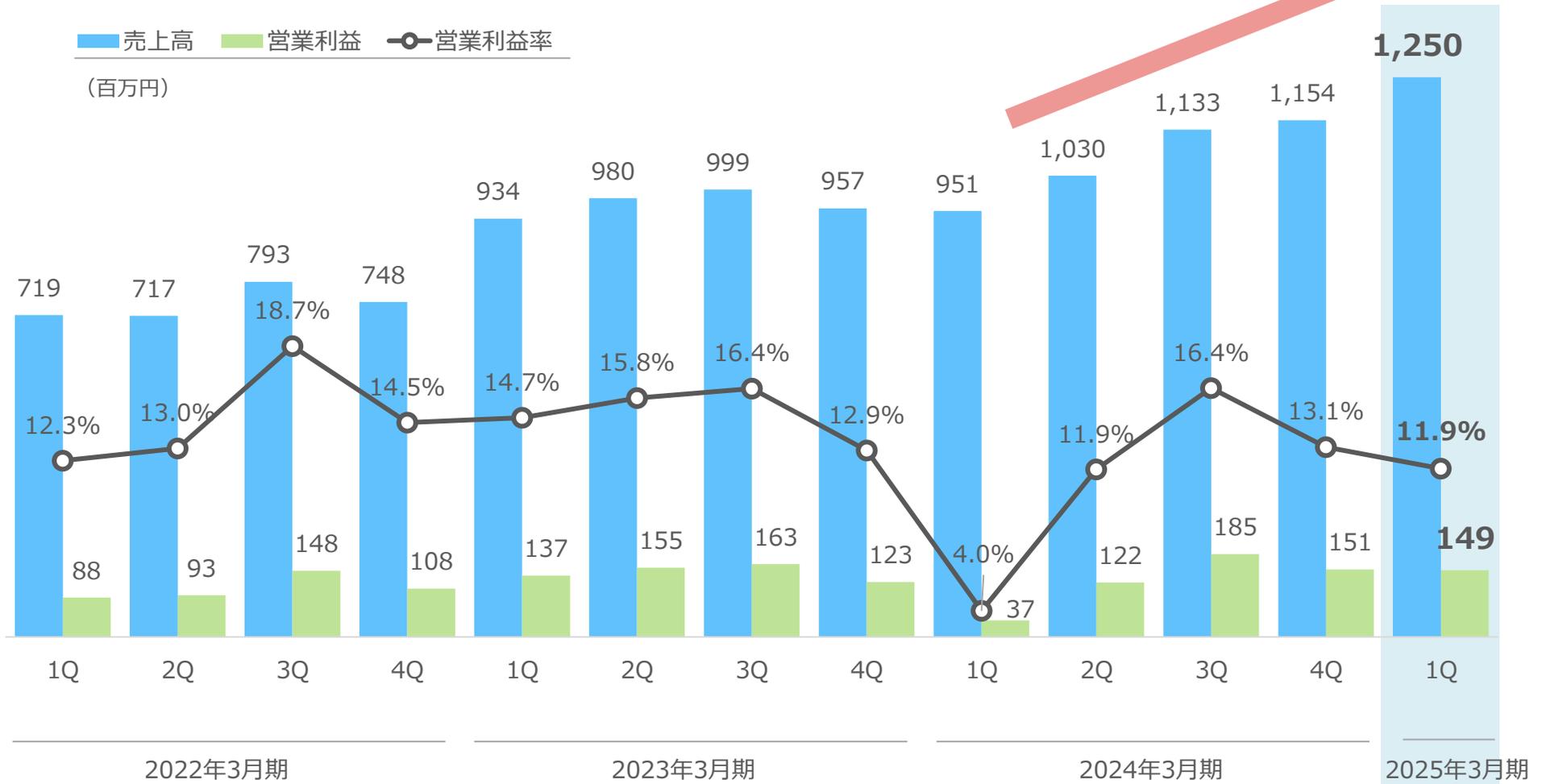
営業利益増減要因

- 人員増に伴う人件費や減価償却費等が増加するものの、増収によりコストを吸収し営業利益は大きく増加（前年同期比296.0%増）



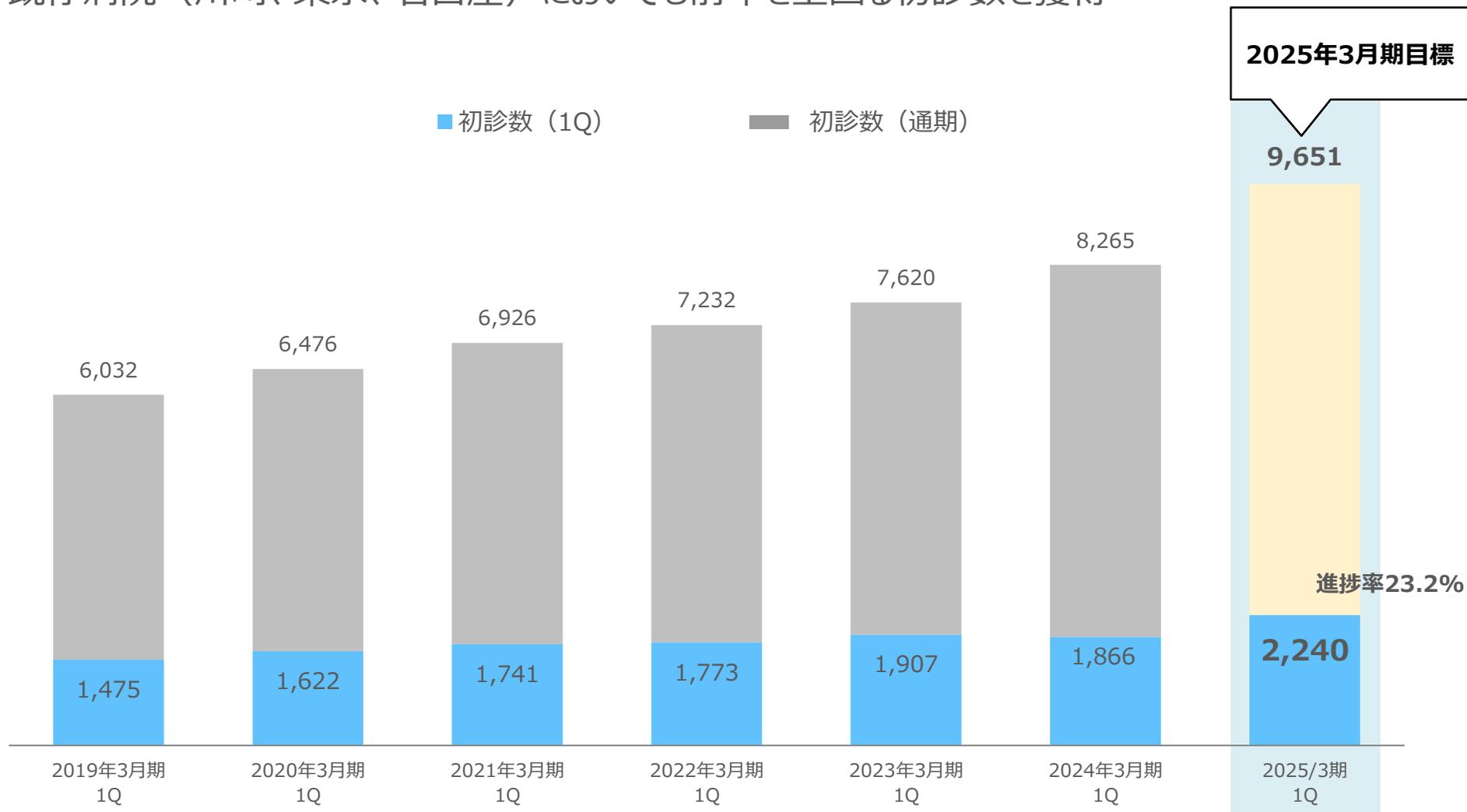
四半期決算 業績推移

- 売上高は四半期で過去最高の1,250百万円を達成
- 2024年3月期の2Q以降、四半期の売上高は1,000百万円越えを維持して成長中



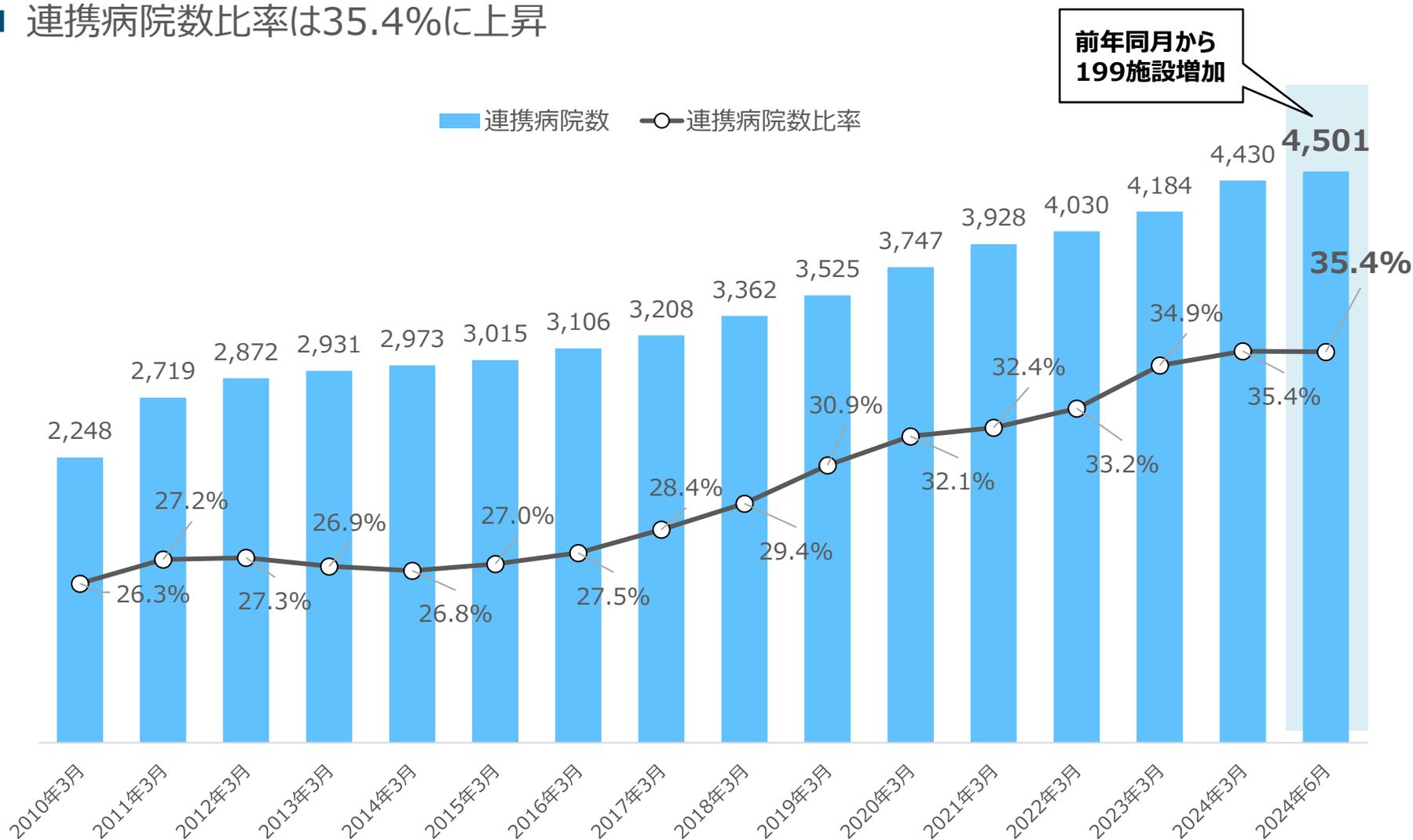
事業KPI：初診数（紹介数）は大きく増加

- 大阪病院の診療体制が予定通り整ったことで、関西エリアで初診数を多く獲得
- 既存病院（川崎、東京、名古屋）においても前年を上回る初診数を獲得



事業KPI：連携病院数は、全国4,501施設に増加

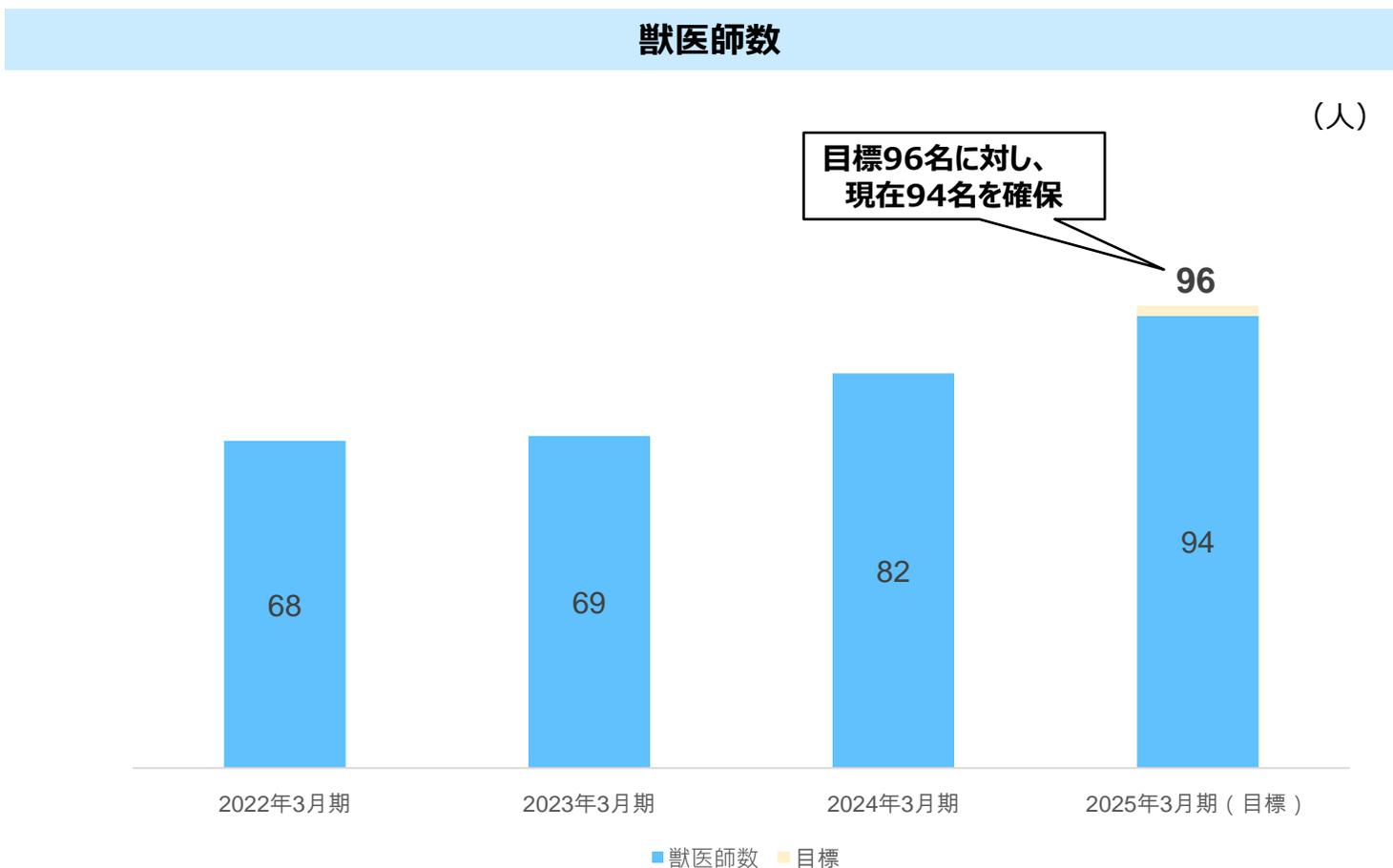
- 2024年6月末の連携病院数は、前年同月から199施設増加し、初診数の増加に寄与
- 連携病院数比率は35.4%に上昇



*連携病院数比率は農林水産省（令和5年12月末時点の小動物診療施設の件数）の開設届出数をもとに算出

事業KPI：獣医師の採用状況

- 2025年3月期1Qでは獣医師の採用が順調に進み94名まで拡大



- ・2023年6月開院
- ・診療科：
循環器科、呼吸器科、泌尿生殖器科、消化器科、脳神経科、整形外科、
腫瘍科、集中治療科、麻酔科、放射線科、画像診断科、血液内科



◆ 2024年5月より放射線治療を開始（川崎本院に次いで2拠点目）

ヒトの医療でも使用されている放射線治療器「RADIXACT」を、日本では初の導入

- ・放射線ビームをがん細胞に正確に照射することができ、周辺臓器への影響を抑えることが可能
- ・従来の治療法に比べて副作用が少ない
- ・撮影したCT画像をもとに照射位置を瞬時に自動修正し、がん病巣だけに照射することができる
- ・これまで放射線治療が難しいとされてきた腫瘍も治療が可能

◆ 開院から順調に推移し、2024年5月に単月黒字化を達成

関西エリアを中心に連携先病院とネットワークを構築し、症例の紹介件数が増加

◆ 大阪病院開院により、関西エリアにおける連携病院数は大幅に増加

大阪病院開院に関する告知前から2024年6月末までに、連携病院数は246件増加*1



*1 2023年4月と2024年6月時点の滋賀県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県における連携病院数から算出

株式会社キャミク

首都圏3ヶ所（東京都江戸川区、東京都世田谷区、埼玉県さいたま市）の施設において、画像診断サービスを行っております。当社の二次診療施設と同様に完全紹介制をとっており、一次診療施設から画像診断のみを希望する飼い主・患者動物の紹介を受け、MRI、CTを用いて画像の診断を行い、所見をつけて一次診療施設に報告するもので、基本的なスタンスは一次診療施設のサポートであります。

最新のニュース



動物検診センター
キャミク

2024年
8月末

📍 キャミク城南

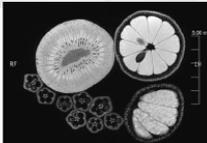
AI搭載 新型MRI導入

AI(ディープラーニング技術)を用いたノイズ除去再構成技術を搭載した超伝導1.5テスラ DLR-MRI「Canon Vantage Fortian〜ブランチバージョン〜」を導入。高精细化による診断能向上と撮像時間の短縮が可能となります。

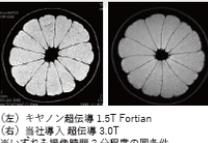
MRI装置の入替工事の間「キャミク城南」は、臨時休診となります。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何とぞご了承下さいますようお願いいたします。

- 工事期間 - - リニューアルオープン -
7/5(金)～8/30(金) ※休診 **8/31(土)** ※休診

画像見本 (T2WI)



グレープフルーツでの比較画像



(左) キヤノン超伝導1.5T Fortian
(右) 当社導入 超伝導3.0T
※いずれも撮像時間2分程度と同条件

新しい機器の特徴

- 獣医療界初のキヤノン新開発 AI 技術「PIQE」搭載
- AI 技術による短時間撮像を実現 (3.0T MRI 以上の画質 / スピードを実現 ※当社比)
- ポア径大型 71cm 超大型犬も対応可能
- マイクロチップアーティファクトを大幅に軽減 (他機種以上の軽減 ※当社比)

<p>動物検診センターキャミク</p> <p>キャミク城北</p> <p>TEL 048-606-3732</p> <p>埼玉県さいたま市南区南手袋 2-11-5</p>	<p>キャミクひがし東京</p> <p>TEL 03-6808-2139</p> <p>東京都江戸川区東葛西 5-32-5</p>	<p>キャミク城南</p> <p>TEL 03-5752-5033</p> <p>東京都世田谷区深沢 8-19-12</p>
---	---	--

camic.jp

テルコム株式会社

全国3営業所（神奈川県横浜市港北区、大阪府大阪市福島区、福岡県福岡市博多区）、5か所の特約店及び24か所の代理店において、酸素ケージ（酸素濃縮器とケージのセット）のレンタル及び販売を行っております。酸素ケージのレンタルは動物の飼い主向けに行っておりますが、これは主に一次診療施設からの紹介によるものです。また、販売は主に一次診療施設向けに行っております。

最新のニュース

酸素ハウス
terucom

ペットの在宅ケアに

ペット用酸素ハウス



お部屋の空気から、高濃度の酸素をつくり出す酸素濃縮器と酸素をためるケージを組み合わせてペットの酸素吸入を助けます。

IoT
モニタリング
機能

軽量

静音

低消費
電力

テルコム社製「ペット用酸素ハウス」3つの特徴

酸素濃縮器	空気から酸素以外の成分を取り除くことで、高濃度酸素を生成しています。ポンベと違い、酸素がなくなることはありません。
専用ケージ	流量が多いので、ケージの中に酸素を供給しながらペットが吐き出した二酸化炭素をケージの中から押し出し、換気できるように作られています。
操作方法	テルコムの酸素ハウスは、器機とケージをホースでつないでスイッチを入れるだけで簡単に利用開始できます。

NEW

軽量化	約16kgまで軽量化(従来品は23kg)
静音性	45dB以下まで下がりました。
消費電力	従来品より31%削減

Pick up /
 新型器には「IoTモニタリング機能」を搭載。遠隔操作により弊社側で酸素濃度をモニタリングし、器械の状態を把握できます。器械の性能低下を把握できるので、適切なタイミングで器械交換が可能となります。

<p>テルコム株式会社</p> <p>TEL 0120-326-002</p>	<p>テルコム横浜</p> <p>TEL 045-947-2903</p> <p>神奈川県横浜市港北区新吉田 8-27-20</p>	<p>テルコム大阪</p> <p>TEL 06-6460-7007</p> <p>大阪府大阪市福島区吉野 4-15-2</p>
---	--	---

テルコム福岡
TEL 092-408-8021
福岡県福岡市博多区東洲 1-7-22
アルナージュ1階
terucom.co.jp

「JARMeC NEWS」vol.18を発刊しました

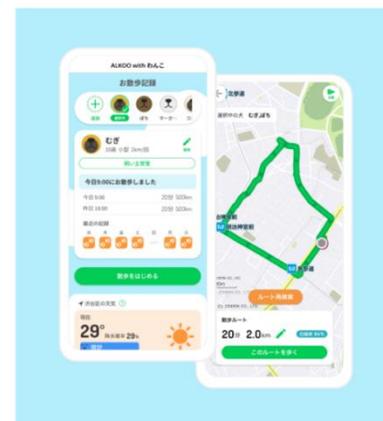


JARMeCが一次診療施設や動物医療従事者向けに作成している、所属獣医師による症例紹介やJARMeCグループの最新情報を掲載した情報誌「JARMeC NEWS」の最新号（vol.18）を6月1日に発刊しました。

JARMeCから広く情報を発信することで、一次診療施設や動物医療従事者の方とのネットワークを広め、JARMeCへのご理解をいただくとともに、病院間の連携を強めていきたいと考えております。

[JARMeC NEWS vol.18はこちらからご覧になれます。](#)

お散歩ナビサービス「ALKOO with わんこ」を共同開発



MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と株式会社ナビタイムジャパン株式会社と共に、ペットオーナーの行動変容によるペットの健康増進に向け、あいおいニッセイ同和損保が販売するペット保険「ワンにゃんdeきゅん」※1の付帯サービスとして、お散歩ナビサービス「ALKOO with わんこ」を共同開発しました。「ALKOO with わんこ」は「ワンにゃんdeきゅん」※1のご契約者限定のサービス（基本使用料無料）として、2024年10月より提供します。

※1 あいおいニッセイ同和損保が2023年1月に販売を開始した、ペットのケガや病気に備えるペット保険

X 公式 IR アカウントを開設



「JARMeC 日本動物高度医療センター (IR)」
(X ID : [@jarmec_ir](https://twitter.com/jarmec_ir)) のフォローは下記よりお願いします。



当社のIR情報を広く投資家の皆様にお届けするために6月25日に、
「JARMeC 日本動物高度医療センター (IR)」
(X ID : [@jarmec_ir](https://twitter.com/jarmec_ir)) を開設いたしました。

当社のIR情報はもちろんのこと、当社の取り組みや様々なニュース
をタイムリーにお伝えしてまいりますので、ぜひご期待ください。



2025年3月期の見通し

(百万円)	2025年3月期			
	通期計画	構成比	前年比	
売上高	4,820	100.0%	+549	+12.9%
営業利益	625	13.0%	+128	+25.8%
経常利益	625	13.0%	+135	+27.6%
親会社株主帰属 当期純利益	440	9.1%	+102	+30.5%

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター
管理部 経営企画課 IR担当
044-850-1320
e-mail : ir@jarmec.jp